

# 浦幌町立博物館だより

2022(令和4)年8月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉urahoro.museum@gmail.com

## 2枚の写真が物語る戦争の時代



図1. 出征兵士を送り出す浦幌村の人々



図2. 兵役に出た男性に代わり、女性の多い終戦の年の浦幌駅職員

### 終戦生まれが77歳の現実

毎年8月は、6日が広島原爆の日、9日が長崎原爆の日、そして15日が終戦の日と、戦争に関係する日が続きます。

第二次世界大戦は、1939(昭和14)年のドイツのポーランド侵攻(1939年)ではじまりました。1941(昭和16)年に日本が参戦してからの戦争は、太平洋戦争と呼ばれています。

それらの戦争が終結したのが1945(昭和20)年8月。その終戦の年に生まれた方の年齢で77歳。第二次世界大戦が始まった年に生まれた方だと83歳となります。

過去の戦争を実体験として知る方が少なくなった現代、博物館の役割は、残されたモノや、聞き取り証言などによって、戦争の実際を伝えていく活動です。あらためて、資料の掘り起こしや、収集した資料を活用して戦争を伝える努力、聞き取り調査の推進などをしていきたいと思っています。

図1は出征兵士を送り出す村の人々。こうして男性が兵役に送られた結果、図2の浦幌駅のように、働き手としての男性が不足し、女性が重要な労働力となりました。

図2はこの春、博物館へ提供された写真を複製したものです。こうした、戦争が引き起こす社会生活の変化をあらわした資料が、まだまだ各地に眠っています。ぜひ博物館へご連絡いただき、後世へ戦争を語り継ぐ資料として活用させてください。

(浦幌町立博物館学芸員 持田 誠)

### 「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

### 鉄かぶとと水筒



第二次世界大戦中浦幌から兵役に出た方が使っていた、旧日本陸軍の「鉄かぶと」(ヘルメット)と水筒。

「鉄かぶと」は兵器として分類されていた時代の名称で、のちに被服の一種として定められると「鉄帽(てっぽう)」という名称に変わりました。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

### Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

### 『うみのそこのてんし』



作・絵 松宮 敬治

2011年12月 BL出版発行

暗く冷たい海の底で、切れた電線をつなぐ仕事をしているロボットの「27」は、アクシデントが原因で船と自分がつながれているロープがちぎれてしまいます。

戻ることできず、失意の中深海へと沈んでいた27は一匹のイッカクに助けられて…。

ロボットとイッカクの出会いが紡ぐ、友情の物語。

【配架場所】

絵本コーナー  
分類記号→Eマ

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)

# 8月の博物館お知らせ

## お知らせとお詫び

4月1日より、職員数が減少となったため、土日祝日の展示室への職員配置ができない場合があります。また、電話がなかなかつながりにくいこともあります。職員不在の際は、となりの図書館カウンターへご伝言ください。ご迷惑をおかけいたしましたして申し訳ありません。

### 企画展

## アイヌ民族の現在 ラポロアイヌネイション

7月30日(土)



9月25日(日)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

共催:北海道立北方民族博物館・ラポロアイヌネイション



### 博物館講座

## 北方民族博物館における 『アイヌ民族の現在』展

8月20日(土)

14:30~16:00

申し込み不要・参加自由

講師:野口泰弥

(北海道立北方民族博物館学芸員)

場所:厚内公民館

※博物館ではありません。ご注意ください

### 北海道立文学館パネル展

## 災害と文学

7月30日(土)



8月14日(日)

10:00~18:00

北海道の災害と文学をテーマにしたパネル展です。

場所:博物館ロビー

共催:北海道文学館・浦幌町立図書館



### 北海道立文学館出前講座

講演会

図書館たまばたまつり関連企画

## 災害と文学

8月6日(土)

14:00~15:30

場所:博物館

講師:苫名直子

(北海道文学館学芸員)

申し込み不要・参加自由

共催:北海道文学館・浦幌町立図書館



### 月例調査観察会

## 豊北植物調査会

日時:8月7日(日) 9:00~12:00

集合:浦幌町立博物館

定員:8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

開催日を日曜日に変更しています。ご注意ください。



### アイヌ文化

## カムイノミ・イチャルパ

日時:8月21日(日)

10:00~12:00

場所:浜厚内生活館

大学から浦幌へ返還された遺骨の慰霊際(イチャルパ)が行なわれます。

申し込み不要・参加自由

主催:ラポロアイヌネイション



入館料:無料

開館時間:10:00~18:00

バリアフリートイレ完備  
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、  
資料調査等は事前に電話かメール  
にてお申し込みください。

### 8月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休館日:月曜日・祝日の翌日

31日(水)は資料整理日で休館です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分  
帯広駅より普通列車…約1時間  
池田駅より普通列車…約30分  
釧路駅より普通列車…約2時間  
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)  
釧路~浦幌間 1680円(片道)

【運賃】  
駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間  
釧路市より国道38号線約1時間半  
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館  
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009  
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)  
E-mail: museum@urahoro.jp / urahoro.museum@gmail.com